

4年目に入る震災支援

- 参加者へ
呼び掛ける
3つの事
- ①被災した皆さまの苦しみを分かち合う事
 - ②今、ここにある命に感謝する事
 - ③資源は無限にないことを知り、節約し、助け合う事

2013 [3年目]

- 1/19 ●大根、ミニトマト 福島市仮設住宅
- 2/16 ●ブロッコリー8箱 南相馬市仮設住宅
- 2/18 ●雑巾300枚 宮城県亘理町荒浜小学校
- 3/12 ●宮城県亘理町仮設・福島県避難仮設
- 4/9 ●野菜 宮城県亘理町
- 5/16 ●手作り玉ねぎ9箱、ヘビーコーン1箱、手作り味噌2箱 福島仮設住宅
- 6/4 ●レタス1800個(188箱) 福島仮設住宅、宮城県(雄勝町、女川町、亘理町)
- 8/17 ●ゴーヤ 福島仮設住宅
- 8/25 ●玉ねぎ、そうめん(長仙寺・医王寺・九聖院より) 福島仮設住宅
- 10/22 ●ミニトマト 福島仮設住宅
- 11/30 ●冬用スパッツ、靴下8,000足 福島仮設住宅24箇所
- 12/6 ●みかん12箱 福島仮設住宅5ヶ所

2014 [活動報告]

- 1/13 ●衣類 宮城仮設住宅
- 2/16 ●野菜 福島仮設住宅
- 3/15・16 ●田原の道の駅さんの協力でキャベツ450ケース、ブロッコリー120ケース、お米900キロ、そのほかの野菜、果物130ケース 仮設住宅(宮城、岩手、福島)
- 4/23 ●布生地 福島仮設住宅
- 5/1 ●甘夏みかん 仮設住宅(宮城、福島)
- 5/10 ●夏みかん、タマネギ 福島仮設住宅
- 6/9~12 ●宮城、福島へ訪問支援(野菜、おもちゃ)
- 6/21 ●ミニトマト 福島仮設住宅
- 7/9 ●ドライフルーツ 福島仮設住宅
- 8/18 ●そうめん段ボール5箱(長仙寺・医王寺より) 福島仮設住宅
- 9/25 ●夏野菜 福島蓬萊若枝幼稚園
- 10/25 ●甘柿 福島蓬萊若枝幼稚園
- 11/21 ●キャベツ100個 福島仮設住宅
- 12/4 ●みかん段ボール(各)10箱 福島仮設住宅、福島さくらみなみ保育園

お問い合わせ・連絡先

ゆずりは学園事務局

〒441-3421 田原市田原町池の原15-3
TEL:0531(22)3515 FAX:0531(22)7761
e-mail:kutsuna_ike@yahoo.co.jp
http://www.yuzuriha-gakuen.com/
http://ameblo.jp/yuzurihaschool/
http://ameblo.jp/kutsuna-diary/

お知らせ

自閉症・アスペルガー等の
「発達障害」の子を持つ親の会

ゆずりはの会 (156回)

○日時/12月12日(金)PM13:30~3:00

○場所/ゆずりは学園

(毎月第2金曜日 1/9・2/13・3/13)

NPO法人 ゆずりは学園

会員希望者

募集!!

- 賛助会員
年会費2,000円
- 正会員
年会費5,000円
- 寄付/自由

三菱東京UFJ銀行
(普)田原支店
□座名義/ゆずりは学園
理事 倉名智彦
□座番号/3627714

お便りを郵送します。
お名前・ご住所をご連絡下さい。



今月のSHOT
第54回中部・第44回北陸
実業対抗駅伝競走大会 (11/16)



千葉県柏市役所訪問 (11/25)



福島の子供達、仮設住宅に送ります。
~蒲都市・大村氏のみなみ園にて~ (12/3)

「文部科学省全国フリースクール等フォーラム」に参加して

この11月24日に東京千代田区霞が関の文部科学省で開催された会に参加しました。文部科学大臣の下村博文氏の話。子供達のフリースクールの大切さを話しました。もう40年前から全国で少しずつ開校されてきたフリースクールですが、今やっと初めて文部科学省での第1回の開催なのです。長い時間の中で子供達の学習の場、仲間作りの場としてのフリースクールが、やっと国の責任で開校されたものです。

14年前に私達が始めた時、まだフリースクールの名前は法律用語にもなく、多くの人々に「フリースクールとは何か?」と聞かれたものです。子供達の居場所と答えると、集団生活が出来ないなんて、子供達のわがままとか、親のしつけが悪いとかいろいろ言われました。子供達のそれぞれの個性はみんな違うのです。でもみんな同じを必要とされるから苦しくなるのです。音に気になる子がいます。当たり前が苦手な子がいます。コミュニケーションが苦手な子がいます。対人関係の苦手な子がいます。これもそれぞれに対応すれば、自分の道を歩いていけるようになります。

小学生の時から不登校の子も中学まで学校に行けなかった子も高校に行き、大学に進み、就職へと自分の道を見つけて行きます。

今回の発表の中に、大阪のフリースクールがいました。このフリースクールは大阪府のその市の教育委員会からの委託を受けて、フリースクールに通うのが無料と言う団体もありました。このように色々な形にいろいろなフリースクールがあります。どこも子供達の居場所として大切に残して子供達の今を支えて、未来につなげて欲しいと思います。

不登校の子供達に学習の権利を

文部科学省の公表した2013年度全国の不登校は、合計17万人以上です。小学生24,000人、中学生約100,000人、高校生約55,000人、さらに分かっているだけで高校生は173人との報告がありました。

「りんごは赤い」と言う先生に対して、りんごは青いと答えた生徒がいました。

なぜ先生がそこまで赤にこだわったか分かりませんが、美術のたつた1授業がこの生徒のそれからの学校生活を変えるものになってしまったのです。

不登校の生徒は増えて来ている。不登校の生徒達の能力は高く、それぞれの個々の生徒の考えも深く、この小学校、中学校の時代を過ぎ、または高校の時代

を経て、社会へと出て行く道は大切です。不登校の時代の予供達の学習の権利はだからこそ必要です。私達の学園のフリースクールから、国立、私立の大学に進み、就職した子供達がいます。どの子も自分の進む道を歩いて行きました。必ず道があるといつも私は思っています。学習の権利を私達はきちんと受け止めなければいけません。

小さな里海の駅
「ゆずりは横丁」
—若者中間就労体験—
第9回 12月21日(日)
9時~13時
(場所) ゆずりは学園

(連絡先) ゆずりは学園 0531-22-3515
http://www.yuzuriha-gakuen.com/

ゆずりはの森から

第140号

2014年12月4日発行



NPO法人
ゆずりは学園

- 小学生
- 中学生
- 高校生
- 大学生
- 社会人